

えほんのとびら

読み聞かせ
はじめてのいっぽ
0・1・2 さい




絵本でたのしいひとときを

「子どもに絵本を読みたいけれど、どんな本を選べばいい?」「どんなふうを読んであげたらいい?」とお悩みのみなさんへ、0・1・2歳のお子さんといっしょに楽しんでいただける絵本のリストをつくりました。

子どもたちは絵本を読んでもらうのが大好きです。このリストを参考に、お近くの図書館で絵本を探してみませんか?

《リストの見方》

<p>書名</p> <p>いないいないばあ</p> <p>松谷みよ子／作 瀬川康男／絵 童心社 21 cm 1981 年</p> <p>著者・画家など</p> <p>出版社、大きさ、出版年</p> <p>子どもたちは「いないいないばあ」と目と目をあわせて遊ぶのが大好きです。絵本でも、にやあにやあが「いないいない」、ページをめくると「ばあ」。くまちゃんもこんこんぎつねも「いないいない ばあ」と、目をあわせていますね。大げさにならないよう自然に読みましょう。</p> <p>絵本の紹介と読み聞かせのポイント</p>	 <p>読み聞かせの時間</p> <p>2分</p>
--	--

☆ページ上「〇歳ぐらいから」は、あくまでもめやすです。お子さんの興味や反応にあわせて、選んでください。

☆「読み聞かせのポイント」は、絵本の魅力や読むときに気をつけること、子どもの反応など、編集アドバイザーがこれまでの実践の中で気付いたことをお伝えしています。

☆「読み聞かせの時間」はめやすです。お子さんが読んでほしがったら何度でもくりかえし読んでください。

☆このリストは、出版社の許可を得て、絵本の表紙画像を掲載しています。

ごぶごぶごぼごぼ

駒形克己／作

福音館書店 20 cm 1999年

「ぷく ぷく ぷくん」「じゃわー」など、水をイメージするようなふしぎな音がいっぱいです。音のひびきと、あざやかな色彩を赤ちゃん楽しみましょう。つつい指を入れたくなる“穴”は、子どもたちが絵本にふれるきっかけとなるでしょう。



1分半

じゃあじゃあびりびり

まついのりこ／さく

偕成社 14 cm 2015年

「じどうしゃ ぶーぶーぶーぶー」「いぬ わんわんわんわん」など、身近な生活の音が、赤ちゃんをひきつけます。絵は、はっきりとした色の切り絵。コンパクトでじょうぶなボードブックなのでやぶれません。



2分

がたんごとんがたんごとん

安西水丸／さく

福音館書店 18×19 cm 1987年

「がたんごとん がたんごとん」と、汽車がすすんでいくと、「のせてくださーい」と、ほ乳びんやスプーン、りんごなどが乗ってきます。最後は子どものいる食卓に到着。くり返されることばの心地よいリズムが、赤ちゃんの興味をひく楽しい絵本です。



1分

なーんだなんだ

カズコ G.ストーン／さく

童心社 21 cm 2004年

「なーんだなんだ くろいのなんだ?」「なーんだなんだ くろいのふたつ」。くり返しと絵でお話が進みます。ページをめくるごとに、なんだらう?と、赤ちゃんに問いかけながら読みましょう。テンポよく読むと、さらに楽しめます。



1分

まるてんいろてん

中辻悦子／さく

福音館書店 20 cm 2015 年

色とりどりの「まる」が、ページをめくるとに大きくなったり小さくなったり、集まったり並んだり。「まる」の大きさや表情によって、声の大きさや高さを加減して読みましょう。



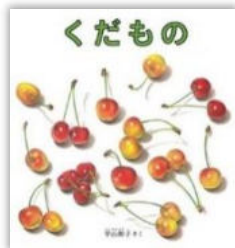
1分

くだもの

平山和子／さく

福音館書店 22 cm 1981 年

本物そっくりにみずみずしく描かれた、すいか、ぶどう、なし……。どれもおいしそうで魅力的。「さあどうぞ」と子どもにさしだしながら、楽しく読みましょう。同じ作者の『やさしい』『いちご』もおすすめです。



2分

どうぶつのおやこ

藪内正幸／画

福音館書店 19×25 cm 1966 年

やわらかな毛なみを感じられるほど、ていねいに描き込まれたどうぶつのおやこ。いぬ、さる、ライオン、ゾウなど、子どもたちの大好きなどうぶつが登場します。文字のない絵本ですが、むずかしく考えずに子どもとお話ししながら自由に読みましょう。



3分

いないいないばあ

松谷みよ子／作 瀬川康男／え

童心社 21 cm 1981 年

子どもたちは「いないいないばあ」と目と目をあわせて遊ぶのが大好きです。絵本でも、にやあにやあが「いないいない」、ページをめくると「ばあ」。くまちゃんもこんこんぎつねも「いないいない ばあ」と、目をあわせていますね。大げさにならないよう自然に読みましょう。



2分

くっついた

三浦太郎／作・絵

こぐま社 18×19 cm 2005年

「きんぎょさんときんぎょさんが くっついた」「ぞうさんとぞうさんが くっついた」。ページをめくるたびにいろいろなどうぶつたちがくっつきます。最後はお母さんとわたしがくっついて、お父さんもくっついて、大満足。読んであげると「たあ、たあ」と語尾を声に出す子もいますよ。



2分

ぴょーん

まつおかたつひで／作・絵

ポプラ社 16 cm 2000年

かえるが「ぴょーん」、ばったが「ぴょーん」、こねこも「ぴょーん」。思わず「ぴょーん」とまねしてジャンプしたくなるユーモラスな絵本です。家庭では、「ぴょーん」で“たかいたかい”をすると、楽しく遊べます。



1分半

かおかおどんなかお(ボードブック版)

柳原良平／作・絵

こぐま社 13×14 cm 2015年

いろいろなかおの表情が、シンプルな切り絵で表現されています。「ないたかお」ではえーんえーん、「おこったかお」ではぶんぶんなど、絵といっしょに顔の表情をつくったり、声をそえたりするとさらに楽しくなりますよ。



1分

もこ もこもこ

谷川俊太郎／作 元永定正／絵

文研出版 29 cm 1977年

「もこ もこもこ」「によきによき」「ぼろり」……。ふしぎな音とふしぎな絵。音のひびきを楽しみながら読むと、子どもたちは夢中になります。速度も変えて読んでも楽しめます。



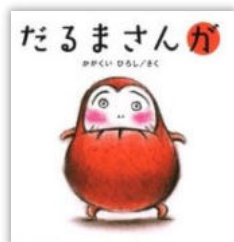
3分

だるまさんが

かがくいひろし／さく

ブロンズ新社 18 cm 2008 年

「どてっ」ところんだり、「ぷしゅー」とつぶれたり、だるまさんのユーモラスな動きと表情が笑いを誘います。動きをまねっこしたり、からだをつかっていっしょに遊んだりするのも楽しいですよ。



2 分

でてこいでてこい

はやしあきこ／さく

福音館書店 20 cm 1998 年

「だれか かかれてるよ でてこい でてこい」とよびかけると、うさぎが、あひるが、かえるがとび出します。よびかけの後、間をとりながら読み、子どもたちが想像する時間をつくりましょう。すっきりした形と色のゆかいな絵本です。



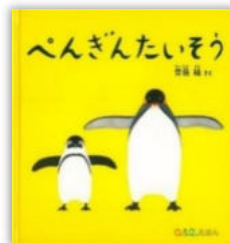
2 分

ペンギんたいそう

齋藤慎／さく

福音館書店 21 cm 2016 年

「いきをすって～ はいて～」くびをのばして～ ちぢめて～」。ペンギん親子がユニークな体操をします。ペンギん親子といっしょに首をのばしたり、うでをふったりしながら読むのも楽しいですよ。



1 分半

ととけっこうよがあげた

こばやしえみこ／案 ましませつこ／絵

こぐま社 20×21 cm 2005 年

わらべうた「ととけっこう」をもとにした絵本です。夜が明けて、元気なにわとりが、歌でどうぶつたちを起こしていきます。わらべうたの心地よいリズムにのせて読みましょう。巻末に楽譜もついています。

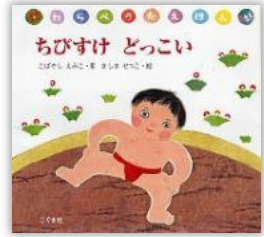


1 分半

ちびすけどっこい

こばやしえみこ／案 ましませつこ／絵
こぐま社 20×21 cm 2006年

「ちびすけどっこい はだかでこい ふんどしかついで
はだかでこい」。どうぶつたちと男の子がすもうの勝負
をします。メロディはない、ふしだけのわらべうたの絵本で
す。「ちびすけどっこい」の「ち」や、「ど」にアクセントを
つけて、リズムカルに読むとよいでしょう。



1分半

おひさまあはは

前川かずお／作・絵
こぐま社 20×21 cm 1989年

「おひさまがあはは おおきなきがあはは……」。みんな
「あはは」と笑っているのに、笑っていない子がいます
よ。リズムを楽しみながら読みましょう。「あはは」に
つられて思わず笑顔になる絵本です。元気が出て、
しあわせな気分になれますよ。



2分

おててがでたよ

林明子／さく
福音館書店 18×19 cm 1986年

自分で服を着ることができてうれしい、赤ちゃんの気
持ちが伝わってくる絵本です。おてて、あんよなど、体
についてのことは覚える時期に、子どもの手や頭な
どにふれながら読んでみましょう。同じ作者の『きゅっ
きゅっきゅっ』もおすすめてです。



2分

のりたいな

みやまつともみ／さく
福音館書店 21 cm 2019年

路線バス、郵便車、ごみ収集車など、町で見かける
“はたらく車”が繊細な貼り絵で描かれています。やさ
しく語りかけるような文があたたかい、のりもの絵本
です。



2分

おでかけばいばい

はせがわせつこ／ぶん やぎゆうげんいちろう／え
福音館書店 18×19 cm 2006年

とり、ねこ、かえるの子どもたちが、お母さんのリュックに入っておでかけします。ユニークな足音はリズムよく読みましょう。手をふりながら「いってらっしゃーい」「ばいばい」と声をかけると楽しいですよ。



2分

たまごのあかちゃん

かんざわとしこ／ぶん
やぎゆうげんいちろう／え
福音館書店 22 cm 1993年

たまごのなかから、かくれんぼしているどうぶつの赤ちゃんがとび出します。「かくれんぼしてるのはだれだろだれだろ」と、ゆっくりページをめくりましょう。めくった後は、絵をたっぷり見せてから、次の場面にうつりましょう。



3分

ぱんだいすき

征矢清／ぶん ふくやまあきえ／え
福音館書店 20 cm 2007年

パン屋さんに入ると、おいそなパンがいっぱい。今日は、どのパンを買おうかな。パンのいいにおいを想像しながら、わくわくした気持ちで読みましょう。好きなパンを選びあっても楽しめますよ。



2分

まるくておいしいよ

こにしえいこ／さく
福音館書店 20 cm 1999年

色とりどりのまるのシルエット。ページをめくると「まるくておいしいもの」があらわれます。ビスケット、のりまき、ケーキ、どれもおいそ。「ほうら、まるくておいしいよ」と本をさしだすと、子どもは手を伸ばして食べに来ます。やりとりを楽しみながら読みましょう。



2分

おつきさまこんばんは

林明子／さく

福音館書店 18×19 cm 1986年

夜空にのぼったおつきさま。雲が近づいてきておつきさまの表情がくもります。雲からでてきたおつきさまはにっこり。「あーよかった」と子どももにっこりします。短いながらドラマがあります。裏表紙までしっかり見せると、「べー」をしているおつきさまに笑い、まねっしますよ。



1分半

きんぎょがにげた

五味太郎／作

福音館書店 22 cm 1982年

水そうからにげだしたきんぎょはどこにいった？見つけたと思ったらまたにげだしてしまいます。「どこににげた。」「こんどは どこ。」という絵本の問いかけに、子どもがきんぎょをさがす時間を取りながら読みましょう。



1分半

がちゃがちゃどんどん

元永定正／さく

福音館書店 22 cm 1990年

「がちゃがちゃ」「どんどん」「かーん かーん」。音のイメージを絵にした絵本です。どの絵も音にぴったり。音のひびきと絵を楽しみながら読みましょう。おもしろい音に反応して、子どもも声にだして楽しめます。



1分

ぱんちんぱん

柿木原政広／作

福音館書店 20 cm 2014年

「ろーるぱん ぱんぱん ぽん ちん ぱん」。はじける音とリズムで、子どもたちの大好きなパンが登場します。指でほじった穴が顔になっていますよ。写真の変化が分かるよう、じっくり見るための間を取り、音のひびきを楽しみながら読みましょう。

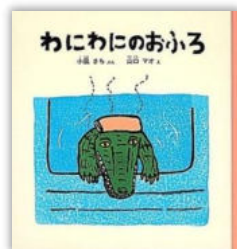


2分

わにわにのおふろ

小風さち／ぶん 山口マオ／え
福音館書店 22 cm 2004 年

わにわにはおふろが大好き。おゆにおもちゃをうかべたり、あわであそんだり……。迫力のある版画がユーモラスで、おふろの苦手な子どももおふろが好きになりそうです。ゆっくりページめくって、絵を見せてあげてください。『わにわにのごちそう』など、シリーズもあります。



2分

おはよう

なかがわりえこ／さく やまわきゆりこ／え
グランママ社 18 cm 1986 年

朝、おひさまはふとんの中で目を覚まし、歯をみがいて顔を洗います。1日の始まりをやさしい色づかいで表現した絵本です。ゆっくり順を追って、生活のリズムが分かるように読みましょう。1日の終わりを描いた『おやすみ』もあります。



1分

しろくまちゃんのほっとけーき

わかやまけん・森比佐志・わだよしおみ／著
こぐま社 20×21 cm 1972 年

しろくまちゃんが、お母さんといっしょにホットケーキをつくります。フライパンにたねをおとして、「ぼたあん」「ドロドロ」「ピチピチ」……。このページは、指でさしながら読みましょう。お気に入りなら、何度でもくり返し読んであげると子どもが喜びますよ。

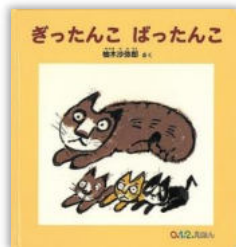


3分

ぎったんこばったんこ

柚木沙弥郎／作
福音館書店 20 cm 2008 年

ねこの親子が公園で「ぎったんこ ばったんこ」と遊びます。「ぎったんこばったんこ」の場面は調子よく読みましょう。家庭ではおひぎの上で、「ぎったんこばったんこ」と子どもの体をゆすってあげると喜ばれるでしょう。



2分

かささしてあげるね

はせがわせつこ／ぶん にしまきかやこ／え
福音館書店 20 cm 1998 年

「かさ さしてあげるね」と、子どもがかさをさしかけます。ゾウには大きいかさ、キリンには柄の長いかさ。「ピッチャン パッチャン」「ピロリン ポロリン」、雨の音もユニークです。どうぶつが出てくるごとに、ひと呼吸おいて読みましょう。



2 分

バルンくん

こもりまこと／さく
福音館書店 20 cm 2003 年

「バルン バルン バルルーン……」排気音のひびきが調子よく、表情ゆたかで、車好きさんにはもってこいの絵本です。「バルン、バルン」と元気よく読みましょう。シリーズに『バルンくんとともだち』『バルンくんのさんぽ』もあります。

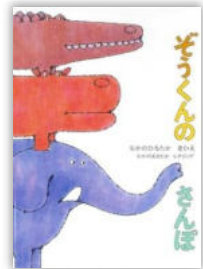


1 分

ぞうくんのさんぽ

なかのひろたか／さく・え
なかのまさたか／レタリング
福音館書店 27 cm 1977 年

ぞうくんはごきげん、おさんぽで出会ったかばくん、わにくん、かめくんと、背中に乗せてすすみます。後半の「うわーっ。どっばーん。」というおどろきの展開が子どもをひきつけます。シリーズに『ぞうくんのあめふりさんぽ』などがあります。



2 分

おおきなかぶ

A.トルストイ／再話 内田莉莎子／訳
佐藤忠良／画
福音館書店 20×27 cm 1966 年

おじさんがまたかぶのたね、おおきくそだって、ひとりではぬけません。「～が～をひっぱって」という調子のよい言葉や「うんとこしょ、どっこいしょ」のかけ声に合わせて、子どもといっしょにかぶをひっぱるまねをすると楽しいですよ。



3 分

読み聞かせQ&A

Q. 生後何か月くらいから読み聞かせをはじめたらいいですか？

A. 絵をじっとみていられるようになったら（4か月から5か月くらい）はじめられますが、急がずあせらず、読んであげたくなったらはじめてください。

Q. どんなふうに読めばいいですか？

A. ゆっくりと子どもに語りかけるように読んであげましょう。大人もいっしょに絵本を楽しむことが何より大切です。

Q. 読んでもあまり反応がありません。

A. 聴覚はおなかにいるうちから発達しています。反応していないようにみえても赤ちゃんには読み手の声がかかりと届いています。そのうち、本を読んでと持ってくる日が来ますよ。

Q. 絵本をなめたり、かじったりしてしまいます。

A. 絵本に興味がある証拠です。「絵本は開いてめくって読むもの」とわかると、自然にしくなります。多少かじっても、じょうぶで誤飲の心配の少ないボードブック（角の丸い厚紙の絵本）を用意してあげてもよいでしょう。

Q. 自分でページをめくって、読ませてくれません。

A. めくることで、目の前のものが新しいものに変わることを楽しんでいるのです。最後まで読めなくても大丈夫。毎日続けて読んでいると、絵本は読んでもらうと楽しいものだとかかって、だんだん読めるようになっていきます。

Q. 同じ本ばかり読まされます。

A. 同じ本をくりかえし楽しむのが子どもの絵本の読み方です。仲良しの友だちができたなら何度でも遊びたくなりますね。他の本を持ってくるまで、どうぞ読んであげてください。

発行：宮崎県立図書館

発行日：令和3年3月

監修：(福)芳雄会 図書顧問・日本女子大学 非常勤講師 伊藤 明美

協力：編集アドバイザー

子うさぎ文庫 主宰 坂下 実千代

宮崎県幼稚園連合会 副会長 坂本 美代子

宮崎学園短期大学 非常勤講師 佐藤 由紀枝

延岡市立図書館 湯川 拓未

都城市立図書館 服部 紗香

都農町民図書館 外山 敦美

